



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2012, 97(5): 1181-1181

ISSUE DATE:

2012-02-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/172042>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成24年2月5日発行(毎月1回5日発行)  
物 性 研 究 第97巻 第5号

ISSN 0525-2997

**vol.97      no.5**

# 物性研究

**2012 / 2**

1. 本誌は、主として物性分野の研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文で引用する時には、Bussei Kenkyu **94** (2010), 1. のように引用して下さい。

### [投稿要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 原則として著者が作成した原稿をそのまま印刷しますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 本文の版のサイズは、横 14 cm、縦 20.5 cm になります。A4 で原稿を作成する場合は、横 16 cm、縦 23.5 cm にしてください。縮小率は、約 88% ですので、活字や図の大きさの目安にして下さい。
  - 2) 第 1 ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 3) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 4) 上記は一応の目安ですので、体裁に多少の違いがあってもかまいません。
3. 本誌は白黒印刷ですので、カラーの図の使用は避けてください。黄色などの薄い色は印刷すると消えたり、色でデータを指定している場合は区別ができなくなります。はっきりした線を用いた、適度な大きさの鮮明な図を使用して下さい。
4. 他の出版物から図をそのまま引用する場合は、出版元への転載許諾が必要です。
5. 投稿は、片面印刷した原稿（ハードコピー）を郵送していただくか、原稿の PDF ファイルをメール添付等でお送りください。(1) ハードコピーの場合は、そのまま写真印刷しますので、必ず片面印刷をお願いします。(2) PDF の場合は、文字化けしないように、フォントを埋め込んだファイルにして下さい。なお、こちらで体裁を修正することがありますので、後日、編集可能なファイル（Tex や Word 等）をお願いすることがあります。
6. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50 部以上 10 部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。印刷後の別刷注文は不可能です。
7. 別刷代金、研究会報告の投稿要領、その他不明の点は、本誌ホームページをご覧ください。どうか、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 掲 示 板

### 「物性研究・電子版」 修士論文 募集

2012年度より創刊される「物性研究・電子版」では、本誌「物性研究」に引き続き、各大学の物性分野の修士課程修了者の研究内容を紹介します。したがって、2011年度の修士論文を募集します。学術的に価値の高いもの、研究内容がユニークで面白いもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや、レビュー的な力作など、特色のある修士論文を投稿して下さい。

「物性研究・電子版」は、主として物性分野の研究者がそれぞれの研究成果や未完成段階の研究内容を自由に発表するとともに、率直な意見交換や研究情報の交換の場を提供することを目的として、年4回の季刊電子版ジャーナルとして編集・刊行されます。これまでの「物性研究」誌の精神を継承しながらも、電子版ジャーナルでは、紙面の制約や印刷経費を憂慮することなく、カラー図版の導入や相互リンクの活用によって、現代のニーズにあった研究情報の提供と交流ができることを期待しています。

- 1) 募集締切： 2012年3月31日（土） [ 締切厳守 ]
- 2) 自薦、他薦は問いません。
- 3) フォントを埋め込んだ 論文 PDF ファイルを、メール添付でお送り下さい。
- 4) 4月以降の連絡先を明記して下さい。E-mail アドレスは必ずご記入下さい。

積極的な投稿を歓迎しますが、掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。例年、判断基準として、論文の内容および分野間のバランス等を考慮しています。掲載が決定した論文については、以下のような対応を取らせていただきます。

1. 英文の修士論文は日本語に訳していただくことがあります。
2. 他の印刷物から転載している場合は、転載の許諾を著者ご自身にお願いすることになります。
3. 修士論文の著作権が所属大学にある場合は、本誌に掲載することを届けて、許可を得て下さい。

#### (問合せ および 送付先)

〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

#### 物 性 研 究 刊 行 会

Tel: (075) 722-3540 Fax: (075) 722-6339

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>



## 編集後記

先日、パリで開かれた百数十人規模の国際会議に参加する機会があった。議論された内容はいずれも興味深く目覚ましいもので、会議は非常に楽しく有意義なものであったが、運営スタイルにはいろいろ驚かされることがあった。

例えば、プログラムがなかなか公開されず、渡航の直前になってやっと公開された。プログラムでは、タイトル、アブストラクトがない講演も多い。口頭 or ポスターかで発表を申し込んだ場合には、いずれの発表になったのか連絡がなく、公開された口頭発表プログラムで名前がないことを見て、ああポスター発表に回されたかと初めて気づくというものである。しかもポスター発表のリストはなく、プログラム上では2日めと、4日めにポスター発表が1時間ずつ設けてはあるものの、自分の発表がどちらの日に行われるかが分からない。参加登録時に自動返信メールだけはあったものの、自分の申し込んだタイトルをメモし損なった者（自分）にとっては困ってしまう事態であろう（あった）。実際に参加してやっと分かったが、イニシャルがAからLまでは2日目、それ以外は4日目というアバウトなものであった。場所も当日までどこにあるのか分からない部屋が2部屋、割り振られており、好きな場所に張って議論してくださいというものである。

今回の会議は、ある国際会議のシリーズの5回めで、前回は、3年前に京都で行われ、自分も実行委員の一人として準備に関わっていた。その際には、会場設営、プログラム告知、懇親会での趣向などいろいろ考えを巡らして準備を行ったという経緯もあり、国際学会の準備に対する取り組みは、こうも日本とフランスでは違うものかと感じさせる経験であった。

とは言っても、少しの困惑はあったものの不満だったというわけでは全くない。むしろ逆の印象である。この分野で世界をリードする研究者が集い、フランクな議論をぶつけ合うという雰囲気は、数年前の京都の場より勝っていると感じてしまったことは否定できない。また、それは今回の手弁当とも思えるようなラフなスタイルであったからということが後押ししていたようにも思われる。

インターネット社会が進み、世界のどこにいても同じような研究ができる時代とはなったが、なかなか地理的な問題は小さくなく、国際会議でこのような雰囲気を日本で感じることはまだまだ難しいと思う。また、昔に比べると格段に良くなっているであろうが、いまだ日本の学生が簡単に欧米に渡航できるものではなかろう。言葉や文化の違いもあるであろうが、駆け出しの学生がファーストネームで呼び合い、大先生と議論する雰囲気は誠にうらやましいものである。

(T. A.)

## [物性研究]

### 編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

### 編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)  
高橋 義朗 (京大・理・物理)  
武末 真二 (京大・理・物理)  
松本 剛 (京大・理・物理)  
吉村 一良 (京大・理・化学)  
遠山 貴己 (京大・基研)  
戸塚 圭介 (京大・基研)  
早川 尚男 (京大・基研)  
森成 隆夫 (京大・基研)  
和田 浩史 (京大・基研)

### 各地編集委員

泉田 渉 (東北大・理・物理)  
川口 由紀 (東大・理・物理)  
波多野 恭弘 (東大・地震研)  
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)  
柳瀬 陽一 (新潟大・理・物理)  
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)  
小西 哲郎 (名大・理・物理)  
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)  
柳田 達雄 (大阪電気大・工)  
狐崎 創 (奈良女大・理・物理)  
水島 健 (岡大・理・物理)  
栗津 暁紀 (広大・理・数理分子生命)  
坂口 英継 (九大・総理工・量子プロセス)  
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)  
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究 第 97 巻第 5 号 (平成 24 年 2 月号) 2012 年 2 月 5 日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

印刷所 中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

年額 19,200 円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

**年会費 9,600円**

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

**郵便振替口座 01010-6-5312**

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。**

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究      97-5 (2月号) 目 次

○講義ノート	
「第56回 物性若手夏の学校 (2011年度)」 .....	927
○掲示板	
「物性研究・電子版」修士論文 募集 .....	1180
○編集後記 .....	1181